

<p>沖縄カトリック中学高等学校 学校通信</p> <p style="text-align: center;">野ばら</p> <p style="text-align: right;">11月号</p>	<p>発行 沖縄カトリック中学高等学校 〒901-2215 宜野湾市真栄原3-16-1 TEL 098-897-3300 http://www.catholic-okinawa.ed.jp/ 2012年10月31日</p>
--	---



心で考える

校長 夏見隆晴

先日の中学1年生の学年朝礼で、講話担当の教師が「企業はどのような人間を求めているか」という題で話をしていました。「就職などまだまだ先の話」と、当の生徒たちは考えているかもしれませんが、わたしたちは彼らの25歳からの2・3年を念頭に置いて為すべきことを、人間教育の目標にしております。それは25歳という年頃が、社会に出て働き始める時期だからです。

社会人には、学生時代よりも自分で「考える」ということが、数段の違いで要求されます。そのためには生徒たちが、早くから「考える」習慣を身につけて欲しいと、わたしたちは願っています。授業中に与えられる知識に対して、なぜこれが出てきた、そしてこれはどの方向に進んでいくのだろうと考えるだけでも、物事に対する姿勢が違ってきます。社会人としての上司は、普通「〇〇」をしておくようにと簡単な支持を出すに留まります。ここで考える人間と考えない人間の違いが出てくるのだと、わたしたちは日々の授業の中で教えているつもりです。

でもそれだけでは、他の多くの学校の教育とそれほど違ったものとはならないでしょう。幼児期から高等学校卒業までをカトリック・ミッションスクールで育った者には、それ相当の付加価値がなければならぬと、わたしは常々考えております。事に当たって考えるという場合も同じことです。世の人たち以上に、あるいは世の人たちとは違って優れた考えというものを、本校で学んだ者には身につけておいて欲しいのです。

それは「心で考える」ということを、終生忘れないで欲しいということです。時に世の人々は、教育を受ければ受けるほど考え方が、自己に有利になるような方向に進んでいくことがあります。そのようななかでわたしたちの学校の卒業生には、他者あつての自己という視点を、常に持ち続けて欲しいと願っております。他者に奉仕することによって、より強く自己を世界に輝かせるような人生を送ってもらいたいのです。

本当のところ「考える」という点では、大人よりも子供の方が優れています。それは、子供は考えるということを心で行うからです。いわゆる感受性が鋭いのは、大人よりも子供の方なのです。子供が時に示す鋭さを思い出してください。そのような鋭い思考に支えられた思考をする人に出会ったとき、わたしたちは心の中で負けを宣言しながら逃げだしていきます。心で考える人たちは真の強さを持った人たちです。

最後に聖パウロの言葉「兄弟たち、ものの判断においてあなた方は子供であってはなりません。悪事については幼い子供のように純真でありなさい。しかし、ものを判断することにおいては一人前のものとなりなさい」もかみしめておきたいものです。



技・家庭科担当
渡名喜 幸美

琉球絣(トゥッチリー)

13年前に他界した祖母は、夏になると「芭蕉のトゥッチリーは涼しくて快適だった。」と昔を懐かしみ、よく話を聞かせてくれました。季節や用途によって、木綿の絣、絹の絣、芭蕉の絣とあつたようです。トゥッチリーとは「絣」のことで、紺地に浮かぶ絣模様が飛び散って見えるところからきている呼び方ですが、絣の着物を総称して表現していたように思います。祖母の若い頃は、夏用は芭蕉から、それ以外の季節には綿花から、そして特別な日のために養蚕した繭から糸を取り、紡いで、織るという生活をしていました。現代の衣生活から考えると、とても気の遠くなる作業ですが、先人たちは根気強く、丁寧に行っていたことに敬服します。

文献によると絣の模様は、琉球王国時代に始まりました。王府絵師による「御絵図柄」を置き、製織された琉球絣(トゥッチリー)は、やがてその技法が日本本土へと北上し、「薩摩絣」・「久留米絣」・「伊予絣」・「米沢琉球絣」と形を変えたとあります。多くの島々からなる沖縄は、木綿、絹、芭蕉で織られた琉球絣(トゥッチリー)が、その地域の特色を生かして、現代に伝承されています。その琉球絣の形象と名称は63種類ありますが、由来により構成されたり、自然物、動植物、器物、人体などの5種に分類されています。

今日では、旧盆に行われるエイサーで、大半の青年会が木綿の「琉球絣」を着用しています。

その中でよく目にする絣の形象が、「ツイグワー(鳥)」「ミヂィ・フム(水雲)」の組合せ、または「ツイグワー(鳥)」と「ブリ・ブサー(群星)」の組合せであつたりします。それらの構成の由来が解ると、季節感の表現まで知ることができるのではと推考しました。

さらに琉球絣を調べたところ、「アタカー(とかげ)」は、松皮菱模様 に似た形をなしていて、日本の江戸初期に一時代を築いた「慶長小袖」の摺り箔などにそれに近い形を見いだすことができました。

南の島から発祥した模様が絣だけでなく、慶長小袖にも表され服飾の歴史に記録されていることには、関心が深まりました。

祖母から聞いた、衣食住にわたる話がきっかけで、古き良き時代の生活全般に関心が持てるようになりました。このことは非常に貴重で、私の財産となっています。その中でも、衣に関する琉球絣(トゥッチリー)は、今では、多くが伝統芸能の場で衣装として着用されていますが、古の人々は、身近にある物や自然界を上手く利用して、豊かな衣生活を送っていたように思います。

この夏、ガジュマルの気根で染めたような、柔らかなピンク地のかりゆしウェアを着用した職員から、竹富島のミンサー織りに使われている絣模様の説明を受けましたが、居合わせた職員で、思わず感嘆の声を上げました。

かりゆしの衿にデザインされた五つの絣と四つの絣の模様は、

「いつの(五つ)の世(四つ)までも幸せに」という願いが込められているそうです。

琉球絣(トゥッチリー)・・・祖母が丹精をこめて織り上げた絣は、どんな願いが込められていたのでしょうか。

祖母と過ごした時間がとても懐かしく、様々な思い出が甦った夏でした。ガジュマルの気根・・・さくら色の染料



11月の予定

日・曜日	行事計画
2日(金)	文化祭準備日
3日(土)	文化の日 文化祭
5日(月)	振替休日
6日(火)	文化祭片付け(午後より授業開始)
7日(水)	完全下校16:20
10日(土)	家庭学習日 漢字検定 Benese 駿台模試M②6年生希望者
17日(土)	クリスマス会活動
19日(月)	<推薦入試出願期間> ~21日
21日(水)	完全下校16:20
23日(金)	勤労感謝の日
24日(土)	推薦入試 家庭学習日
28日(水)	小2・中1交流会



第8回文化祭

11月3日土曜日は、第8回文化祭が開催されます。舞台の部、展示の部と生徒達の学習成果を発表します。多くの方々のご参加をお待ちしています。

ぜひ、お知り合いの方もお誘いあわせのうえ、ご来校下さい。

保護者会の制服リサイクルコーナー、ケーキ、ドリンク販売も、是非、ご利用下さい。

☆講堂の部 9時開始～11時

★展示の部 11時開始～16時

駐車場・・・本校グラウンド・教会側駐車場



* 国際交流に関するお知らせ *

これまで、県が留学費を支援する事業(いわゆる県費留学)がございましたが、今年度から廃止になりました。保護者の皆様から、いくつか問い合わせがございましたので、改めてお知らせ申し上げます。

また、長期留学に関して、本校からいくつかご案内できるものもございます。ご希望の方は、担任または英語科の教員にご相談下さい。



平成25年度推薦入試

沖縄カトリック中学高等学校2013年度推薦入試の願書受付期間は、2012年11月19日(月)から21日(水)となっております。今年度の学校説明会はすべて終了していますが、個別での質問、相談、授業見学は随時受け付けておりますので、ご近所の方、お知り合いの方々へ是非ご紹介下さいますようお願いいたします。

出願期間：2012年 11月19日(月)～21日(水)

午前9時～午後5時

試験日 2012年11月24日(土)